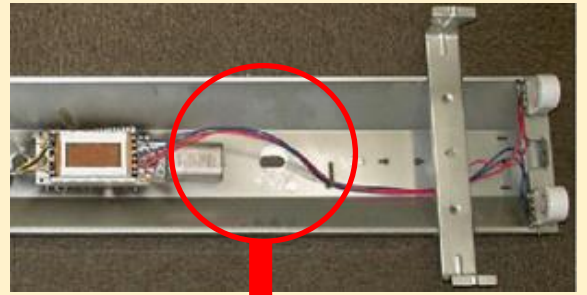


# マンションの共用部照明のLED化

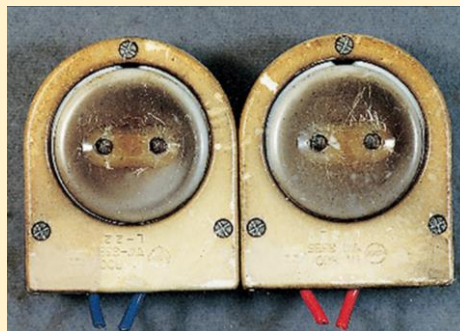
## LED化する時の要件

- 器具の寿命による交換
  - 照明器具の適正交換時期：8～10年
  - 主に安定器や露出ソケット、器具内配線の劣化
- 省電力によるコスト低減

写真引用：一般社団法人日本照明工業会



※古い安定器が発火したケース



※熱劣化によりソケットが変色、クラックが入ったケース



※器具内の劣化した電線の亀裂（拡大画像）

## LED化のメリット

- 光熱費削減：放熱量が少なく、消費電力が少ない（電球の約1/10、蛍光灯の約1/3）
- 長寿命：設計寿命40,000時間＝1日12時間点灯で約9～10年
- 虫が寄り付きにくい：赤外線、紫外線が少ないため、温度上昇・虫の飛来を抑制する

## マンションのLED導入について

- ①LED化後すぐに電気料金が低減できる：毎月の電気料金に反映
- ②白熱電球や蛍光灯のランプ交換による維持管理費を削減できる
- ③節電のため、間引いて点灯させて全体が暗かった建物が、節電しながら空間が明るくなる
- ④最近1年ほどで、各メーカーからマンション用のLED照明器具が出そろってきたので、ほとんどの部位に対応可能

## LED化工事方法

- 管球交換
- 器具交換
- 器具リニューアル



※LED電球



※LED器具



※内部リニューアル

## 照明器具の種類

### ・一般照明器具



### ・非常灯兼用器具



### ・非常灯



### ・誘導灯



器具の種類による交換目的

- ・一般照明器具：器具寿命、省エネ
- ・非常灯兼用器具、非常灯、誘導灯：安全性、法令順守

※非常灯・誘導灯関係は個別認定なのでリニューアルは不可

## マンションのLED導入方法

- ①全灯導入：すべての器具を一度にLED化し、早期にコスト低減を図る  
(イニシャルコストがかかる)
  - ②分割導入：器具によって期を分けて効果が上がる部分から導入し、コスト低減と並行して行う  
組合予算に応じて段階導入する  
(イニシャルコストが抑えられる 効果を検証しつつ段階を追って計画できる)
- 例) 優先導入箇所：共用廊下・エントランス・駐車場・駐輪場等  
段階導入箇所：設備関係室・集会室等

## マンションのLED化の注意点

- ・マンションはそれぞれ建物の形状や条件が異なります。設置位置、明るさ、環境等、そのマンションに最適なLED化は、現地調査した上で提案する必要があります。
- ・省エネにこだわりすぎると照度不足で暗くなり、不適切な器具を設置すると器具寿命が短くなったり、事故の原因や法的不適格になることがございます。
- ・LED化をご検討の案件がございましたら、まずはお問合せ頂きますようお願い申し上げます。

問い合わせ先

株式会社リブロング

〒251-0861 神奈川県藤沢市大庭5248-1

TEL:0466-88-9893 FAX:0466-88-8938